

ふじいでらしの
「家計簿」
令和4年度決算



藤井寺市公式キャラクター
『まなりくん』

もくじ

1. 令和4年度の決算を見てみよう …… 1 ページ
 - ① 藤井寺市の収入はどれくらい？
 - ② 市民一人当たりの収入は？（近隣市との比較）
 - ③ 藤井寺市の支出はどれくらい？（目的別と性質別）
 - ④ 市民一人当たりの支出は？（近隣市との比較）
 - ⑤ 家計簿に置き換えてみると？

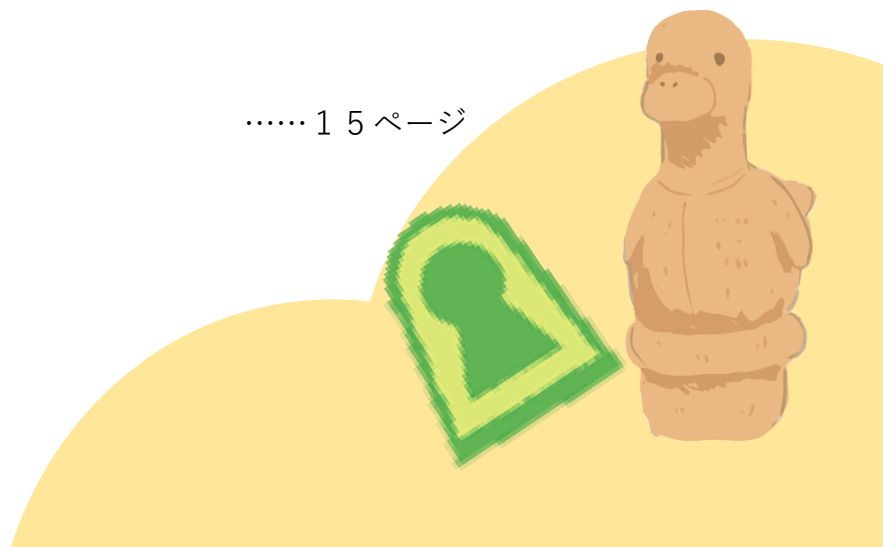
2. 藤井寺市の貯金と借金を見てみよう …… 7 ページ
 - ① 貯金はどれくらいあるの？
 - ② 借金はどれくらいあるの？

3. 二つの指標で藤井寺市の健康診断 …… 10 ページ
 - ① 自由に使えるお金の割合をチェック
 - ② 借金返済の負担が大きすぎないかチェック

4. 藤井寺市の課題と取り組み …… 12 ページ
 - ① 貯金がなくなる？
 - ② 収支の見通しと取り組み

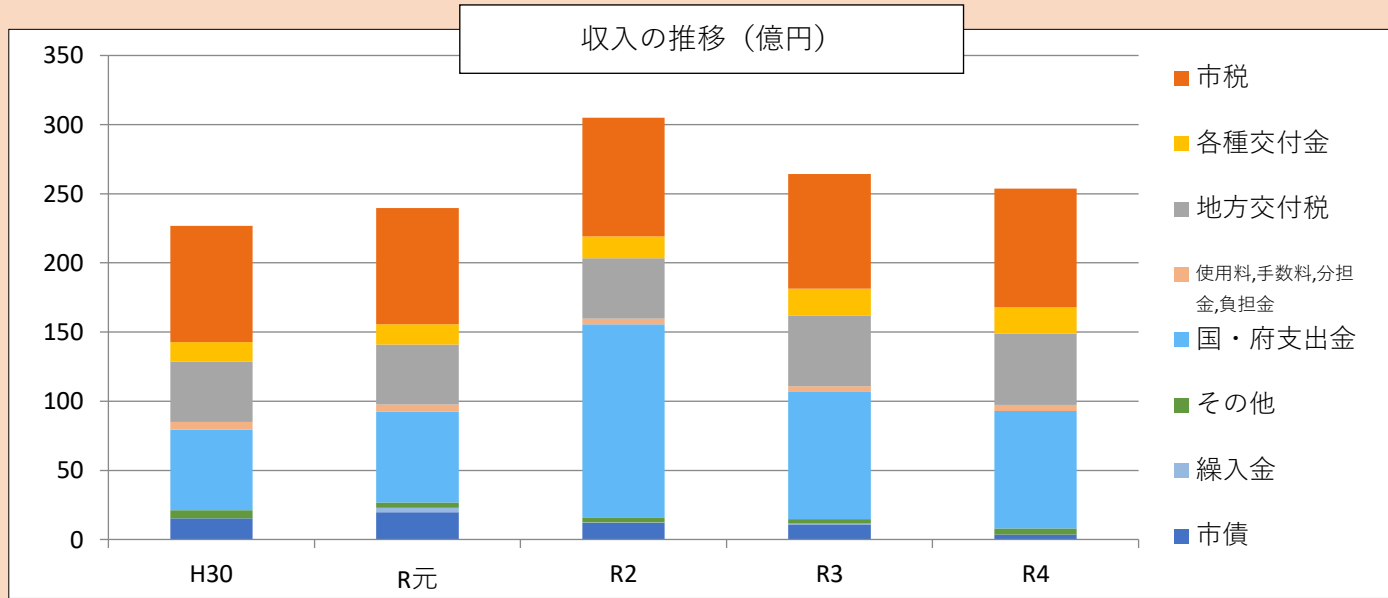
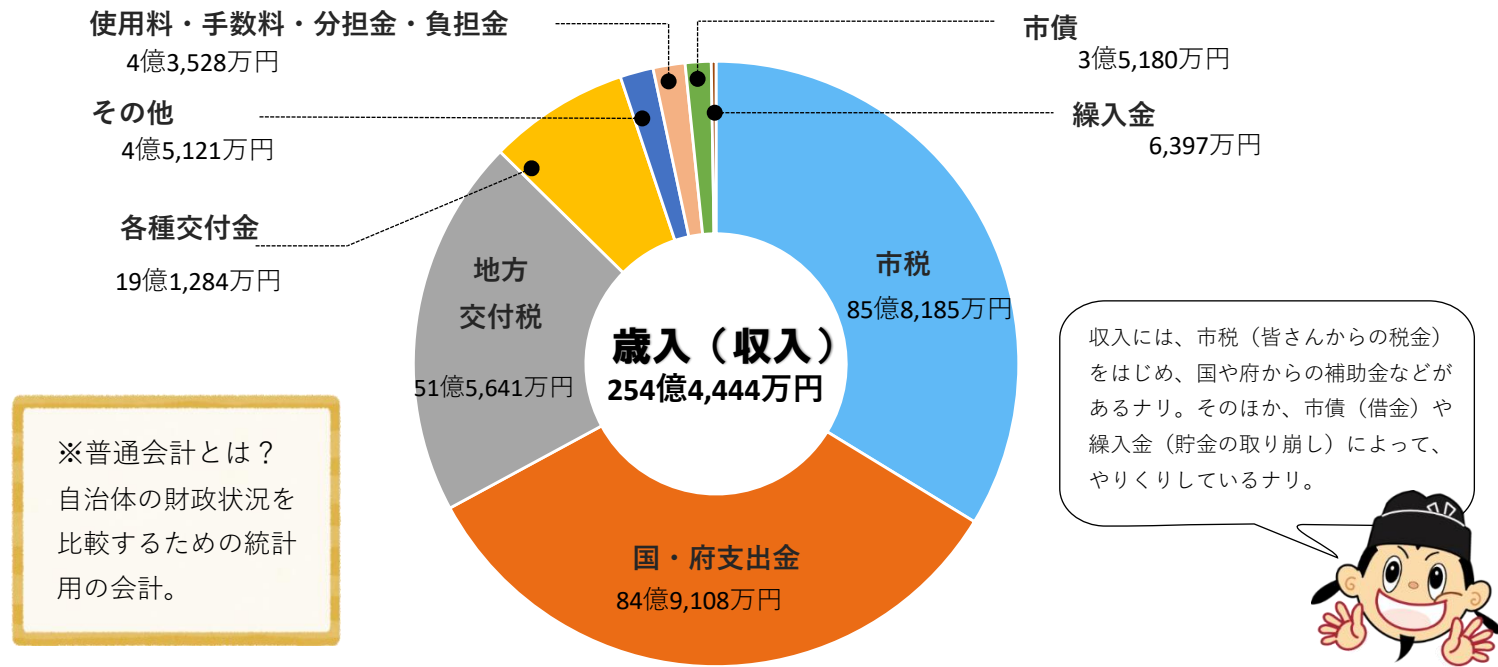
5. 藤井寺市民の皆さまへ …… 15 ページ

○用語解説



1. 令和4年度の決算を見てみよう（※普通会計）

① 藤井寺市の収入はどれくらい？



区分	H30	R元	R2	R3	R4
市税	8,391,573	8,411,568	8,581,704	8,299,677	8,581,845
各種交付金	1,429,562	1,472,401	1,607,653	1,961,453	1,912,838
地方交付税	4,351,936	4,342,623	4,363,518	5,090,008	5,156,406
使用料,手数料,分担金,負担金	563,800	503,621	398,020	411,717	435,280
国・府支出金	5,835,022	6,563,509	14,004,779	9,202,588	8,491,083
その他	561,540	392,615	306,609	323,139	451,215
繰入金	9,325	332,403	44,169	50,418	63,974
市債	1,531,600	1,955,500	1,204,900	1,097,000	351,800
合計	22,674,358	23,974,240	30,511,352	26,436,000	25,444,441

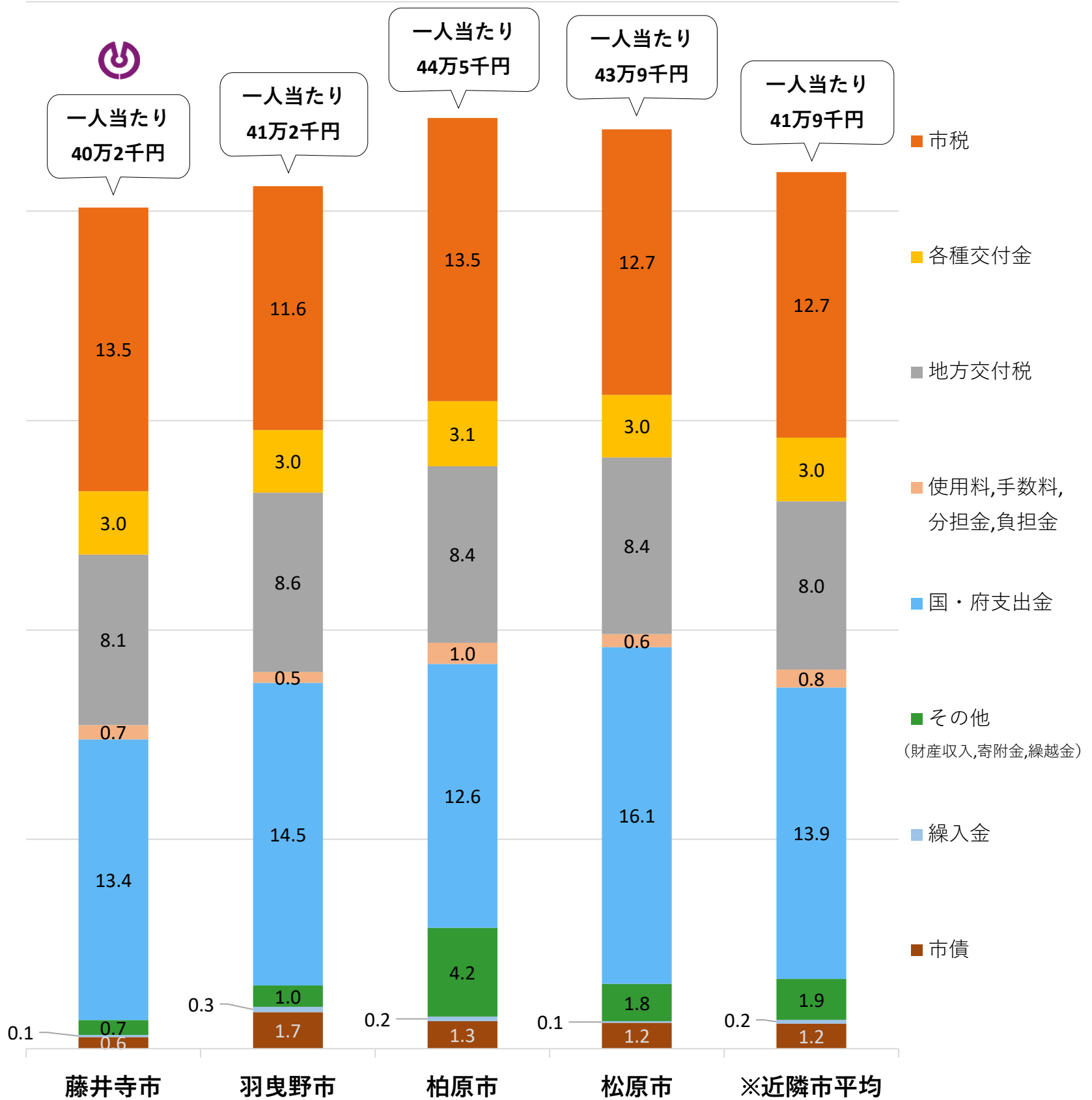


令和4年度は、個人市民税等の増加によって市税が前年度より約2億8千万円増加しているナリ！でも、国の施策である給付金事業等が令和3年度よりも少なかったことで国・府支出金は前年度より約7億1千万円減少していて、建設事業が減ったことや国の地方財政対策によって臨時財政対策債が大きく減ったことで市債（借金）は前年度より7億5千万円減少しているナリ。令和4年度の収入額全体でみると総額約254億4千万円で、前年度と比べると、約9億9千万円（3.8%）減少したナリ。

② 市民一人当たりの収入額は？（近隣市との比較）

市民一人当たり歳入比較（普通会計・令和4年度決算）

単位（万円）



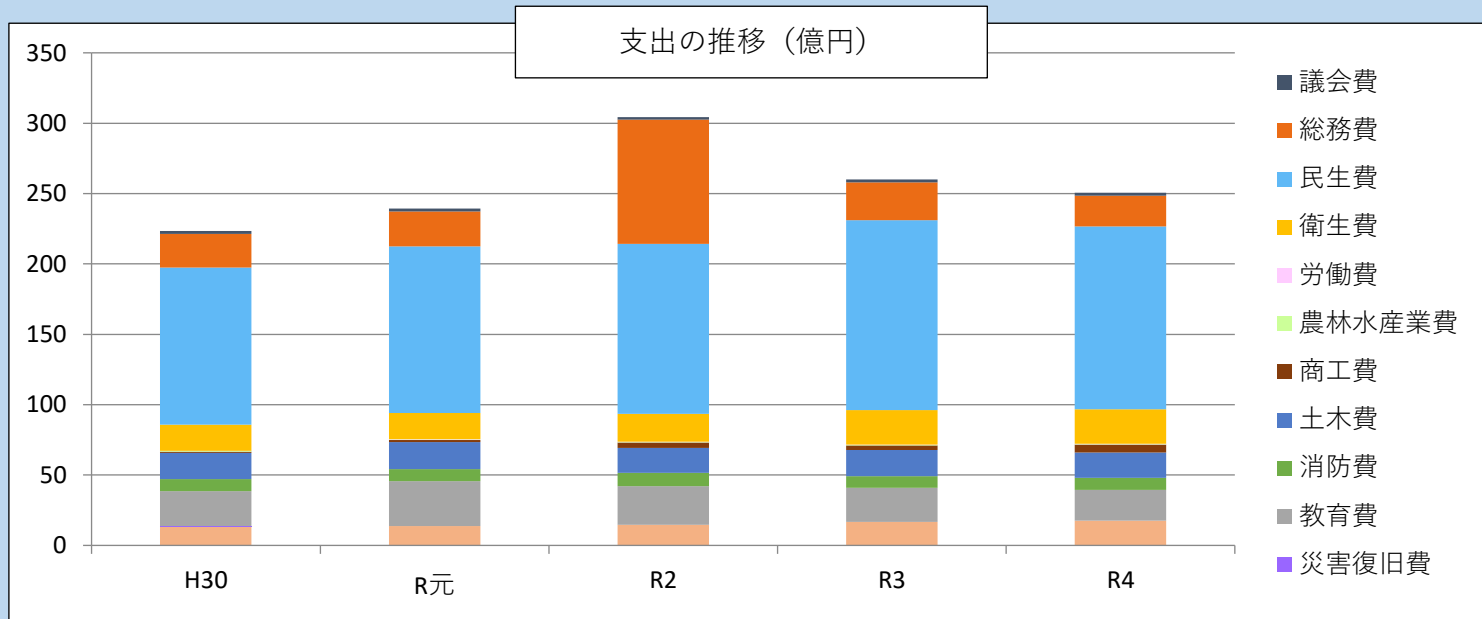
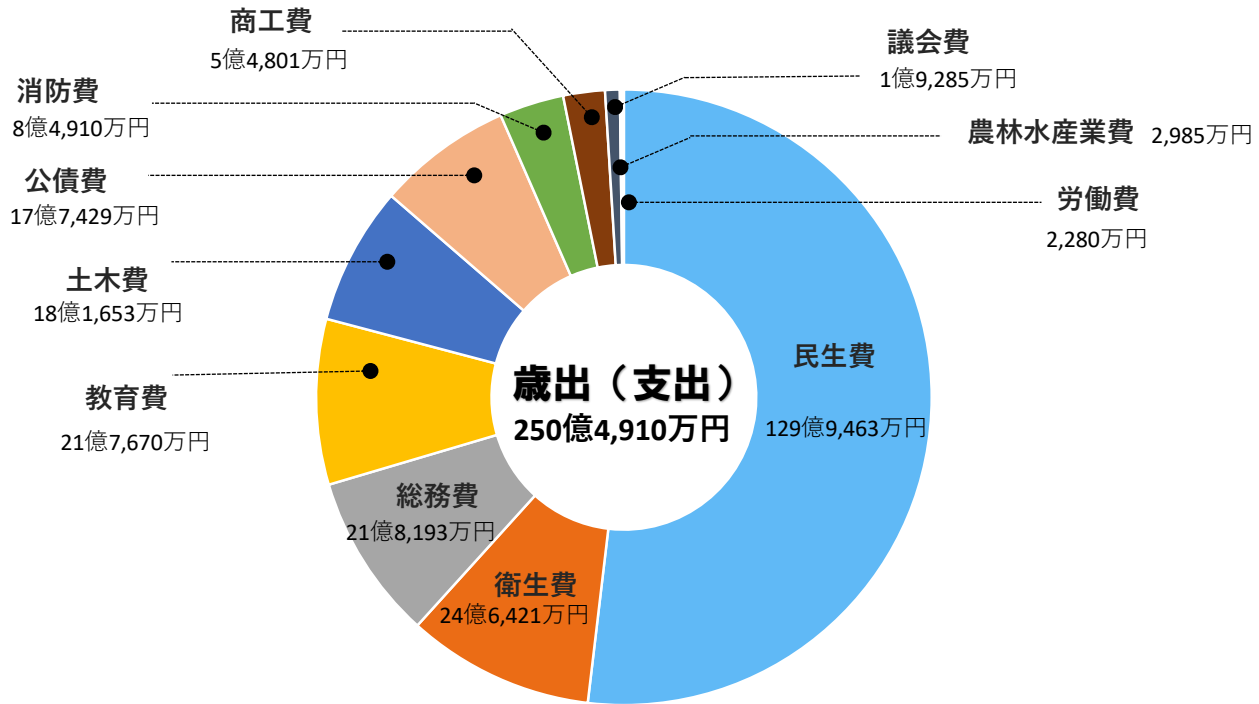
※端数処理の関係で合計と一致しない場合があります。

※近隣市平均とは、上記4市に加えて富田林市、河内長野市、大阪狭山市を含む計7市の平均値となります。

市の規模によって差が出てしまうから、市民一人当たりの金額で比べてみたよ。
藤井寺市は市民一人当たりの収入額が40万2千円で、周りの市と比べてみると少ないみたいだね。



③ 藤井寺市の支出はどれくらい？（目的別）



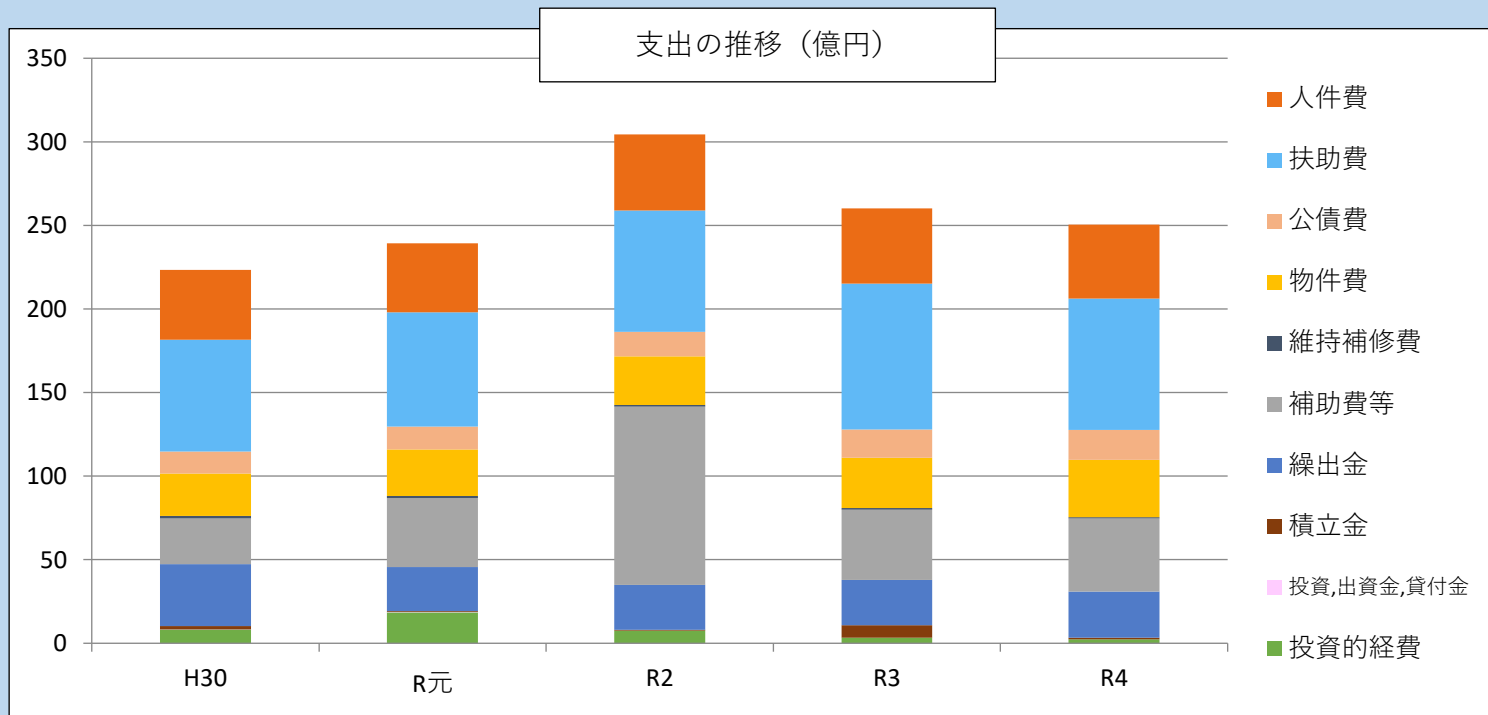
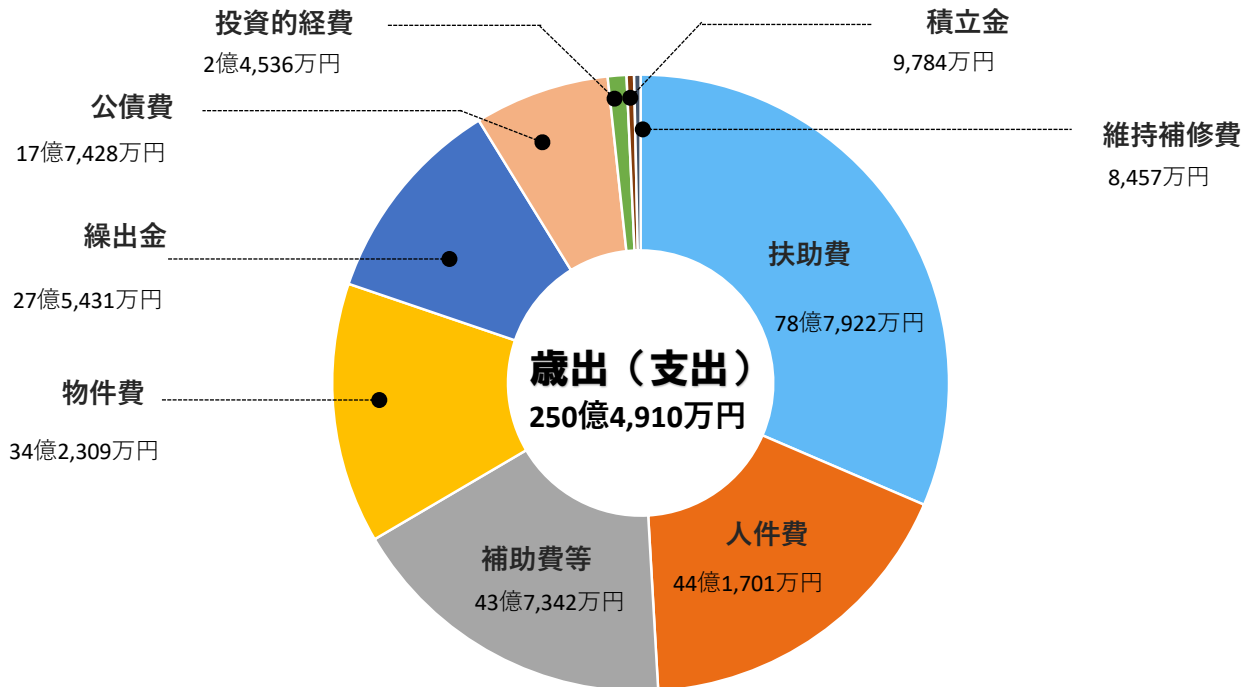
区分（目的別）	H30	R元	R2	R3	R4
議会費	205,650	209,017	198,543	206,272	192,853
総務費	2,384,167	2,479,484	8,822,365	2,704,798	2,181,929
民生費	11,158,192	11,821,583	12,065,213	13,494,653	12,994,630
衛生費	1,845,882	1,869,529	1,984,003	2,439,675	2,462,414
労働費	28,557	28,855	28,564	28,011	22,803
農林水産業費	36,757	40,177	40,254	42,721	29,847
商工費	104,801	129,952	377,553	304,830	548,005
土木費	1,842,883	1,921,164	1,781,352	1,853,575	1,816,527
消防費	879,107	868,853	924,034	848,350	849,098
教育費	2,478,659	3,194,497	2,754,807	2,397,722	2,176,699
災害復旧費	36,722	0	0	0	0
公債費	1,327,486	1,366,059	1,466,923	1,685,729	1,774,294
合計	22,328,863	23,929,170	30,443,611	26,006,336	25,049,099



お金をどんな目的で使ったかという視点で見ると、民生費（子ども、高齢者や障がい者などの福祉サービス）が約129億9千万円と一番多くを占めているナリ。

国の施策である給付金事業等が令和3年度より少なかったこと、建設事業の減少によって、令和4年度の支出合計は約250億5千万円で前年度と比べて約9億6千万円（3.7%）減少しているナリ。

③ 藤井寺市の支出はどれくらい？（性質別）



区分（性質別）	H30	R元	R2	R3	R4
人件費	4,157,293	4,123,937	4,559,488	4,500,959	4,417,010
扶助費	6,688,690	6,851,918	7,246,908	8,716,772	7,879,223
公債費	1,327,486	1,366,059	1,466,923	1,685,729	1,774,275
物件費	2,526,563	2,769,922	2,914,712	3,013,820	3,423,086
維持補修費	148,263	136,548	106,012	87,088	84,574
補助費等	2,745,757	4,113,258	10,660,172	4,203,342	4,373,416
繰出金	3,708,249	2,637,303	2,674,899	2,720,691	2,754,312
積立金	198,384	60,713	70,508	749,669	97,841
投資, 出資金, 貸付金	3,200	31,700	0	0	0
投資的経費	824,978	1,837,812	743,989	328,266	245,362
合計	22,328,863	23,929,170	30,443,611	26,006,336	25,049,099

さっきは使ったお金を目的別に分類したけど、性質別に分類したナリ。

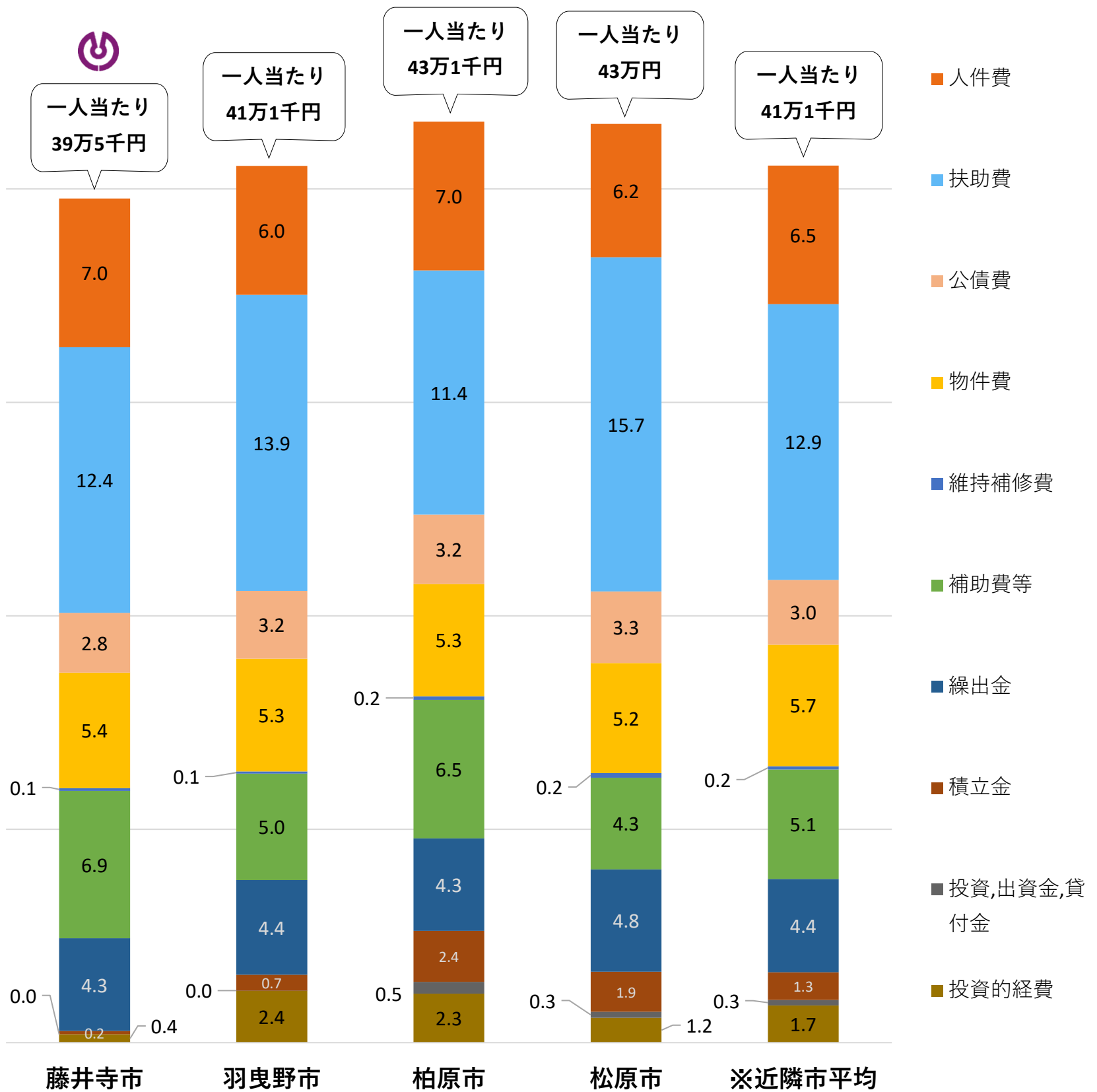
前年度と比べると、扶助費（子どもや高齢者等への援助にかかるお金）が大きく減少しているナリ。これは国の施策である子育て世帯等臨時特別支援給付金等の給付金事業が少なくなったことが主な原因ナリ。その他をしてみると、燃料費高騰による光熱水費の増加等によって、物件費が大きく増加しているナリ。



④ 市民一人当たりの支出額は？（近隣都市との比較）

市民一人当たり歳出比較（普通会計・令和4年度決算）

単位（万円）



※端数処理の関係で合計と一致しない場合があります。

※近隣市平均とは、上記4市に加えて富田林市、河内長野市、大阪狭山市を含む計7市の平均値となります。

市の規模によって差が出てしまうから、市民一人当たりの金額で比べてみたよ。
 藤井寺市は市民一人当たりの支出額が39万5千円で、周りの市と比べてみると少ない金額になっているよ。
 支出費目では人件費と補助費等（各種団体に対する助成金や一部事務組合への負担金など）の割合が高めになっているみたいだよ。



⑤ 家計簿に置き換えてみると？



収入・支出を見てみたけど、色々な専門用語があってわかりにくいナリ！もっとわかりやすくできないナリ？

市の収支は、家計とは異なるものですが、少しでも実感しやすいように令和3年度の収入を月収30万円に置き換えて作った家計簿を見てみましょう。

(万円/月)

収入	R3	R4
給料（市税・地方交付税など）	17.6	18.0
医療費や家の改修などに対する助成金（国・府支出金）	10.6	9.7
家の改修などのために金融機関から借金（市債）	1.2	0.4
長男が毎月納める食費など（諸収入）	0.5	0.6
株の配当や貯金の利子（財産収入）	0.0	0.0
貯金を取り崩し（繰入金）	0.1	0.1
合計	30.0	28.9

(万円/月)

支出	R3	R4
食費（人件費）	5.1	5.0
医療費や保育料（扶助費）	9.9	8.9
住宅ローンなどの借金返済（公債費）	1.9	2.0
家の改修、家具の買い替えなど（投資的経費や維持補修費）	0.5	0.4
学費・光熱水費・日用品費（物件費）	3.4	3.9
下宿している次男への仕送り（繰出金）	3.1	3.1
ローン返済等に備えた貯金（積立金）	0.9	0.1
雑費（その他）	4.8	5.0
合計	29.5	28.4

(万円)

貯金と借金	R3	R4
ローン返済等のための貯金（基金）残高	3.1	3.5
ローン等の借金（市債）残高	21.3	19.7



令和4年度は令和3年度と比べると、給料は増えているものの、医療費や家の改修などに対する助成金が減って、収入全体としては減少しているナリ。

支出では学費・光熱水費・日用品費が増えているけれど、医療費や保育料が減って、支出全体としては減少しているナリ。

2. 藤井寺市の貯金と借金を見てみよう

① 貯金はどれくらいあるの？

藤井寺市には目的に応じた様々な貯金（基金）があるナリ。
主な貯金を紹介するナリ！

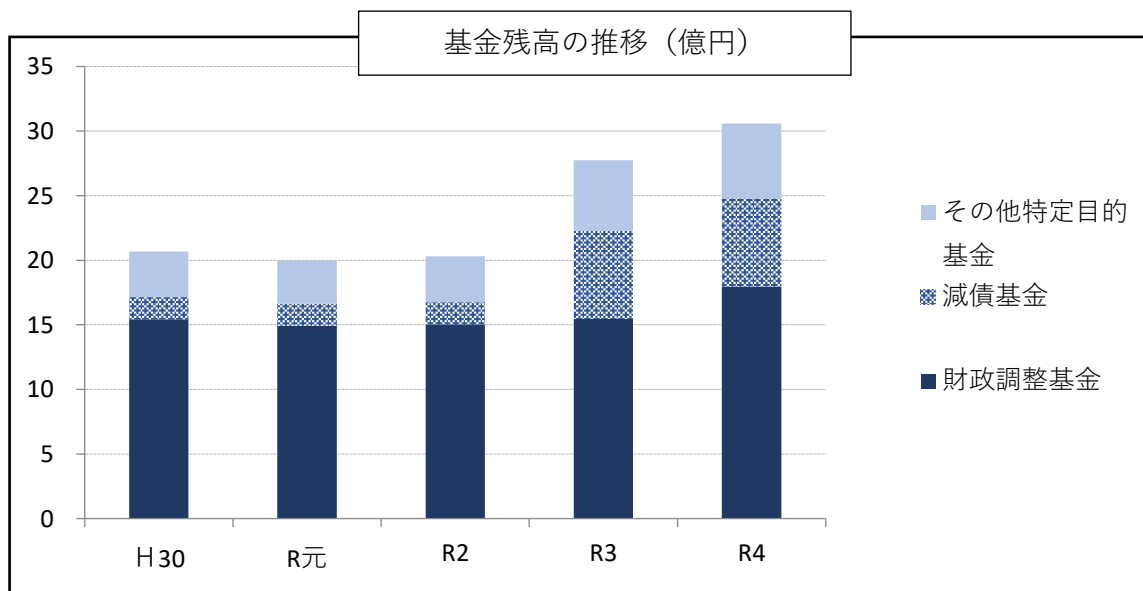


基金の名称 (設立年月)	令和4年度末残高	基金の目的	
財政調整基金 昭和55年3月設置	17億9,497万円	年度間の財源の不均衡を調整し、計画的な財政運営を行うため。	
減債基金 平成元年12月設置	6億8,424万円	市債の返済に備えるため。	
その他 特定 目的 基金	公共施設整備基金 昭和46年3月設置	4億2,841万円	公共施設の整備を図るため。
	福祉基金 平成2年9月設置	733万円	福祉事業の推進を図るため。
	市民病院施設整備基金 平成10年3月設置	3,725万円	病院施設の整備を図るため。
	国際交流基金 平成元年12月設置	272万円	国際交流事業の推進を図るため。
	古代史料整備基金 昭和56年9月設置	2,569万円	市立図書館における古代史料の整備を図るため。
	職員退職手当基金 平成10年3月設置	14万円	職員の退職手当の支給に要する経費に充当するため。
	ふるさとまちづくり 応援基金 平成26年10月設置	6,047万円	規定する事業の財源として、まちづくり応援寄附金を積み立て、管理、運用するため。
	森林環境譲与税基金 令和元年7月設置	1,685万円	森林の整備及びその促進に関する施策のため。



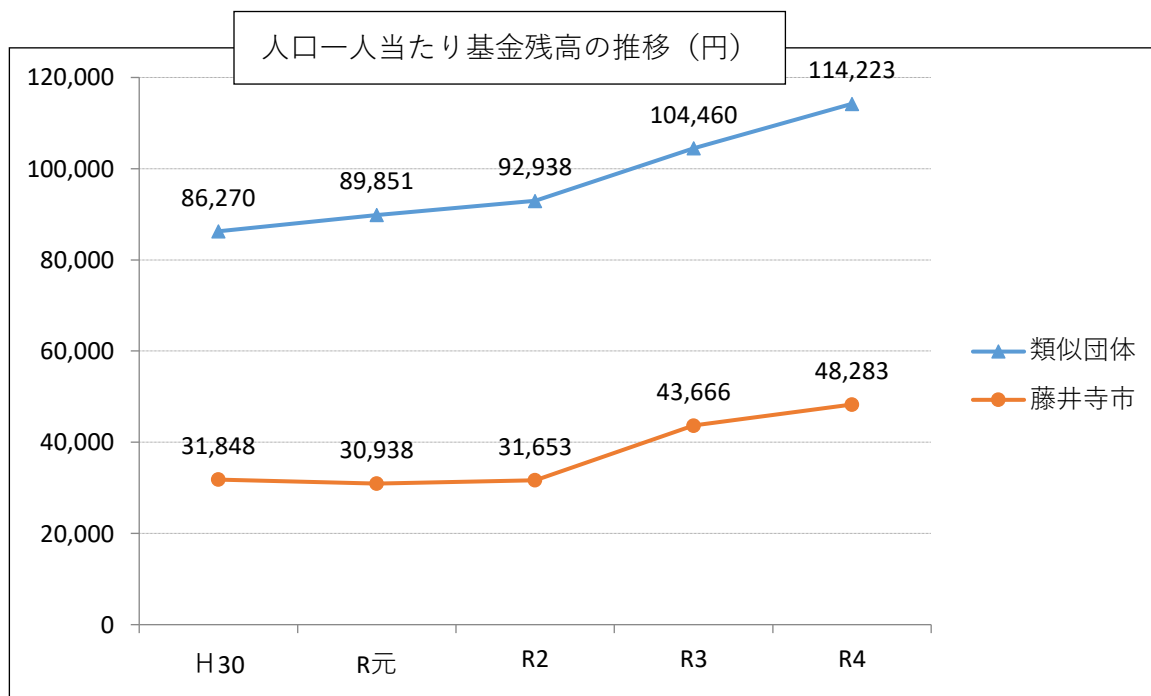
Q. どうして貯金するナリ？

A. 決算・家計簿で見てきたように、収入も支出も経済状況等により変化し、一定ではありません。つまり、安定した住民サービスや事業推進のために、災害や経済情勢の悪化などいざという時に備えて貯金しておく必要があります。



（千円）

	H30	R元	R2	R3	R4
財政調整基金	1,542,549	1,493,341	1,504,090	1,544,947	1,794,965
減債基金	171,850	171,852	171,854	684,229	684,235
その他特定目的基金	353,043	330,559	356,147	545,020	578,863
合計	2,067,442	1,995,752	2,032,091	2,774,196	3,058,063



類似団体とは、人口規模や産業構造が近い自治体のことで、藤井寺市と他市を比較したい時によく用いられるナリ。

藤井寺市の令和4年度末の基金（貯金）残高は前年度末に比べて約2億8千万円増加しているナリ。これは財政調整基金の積み立てが一番の理由ナリ。藤井寺市は類似団体と比べるとまだまだ低い数値だから、この調子でしっかり貯金していかないといけないナリ！



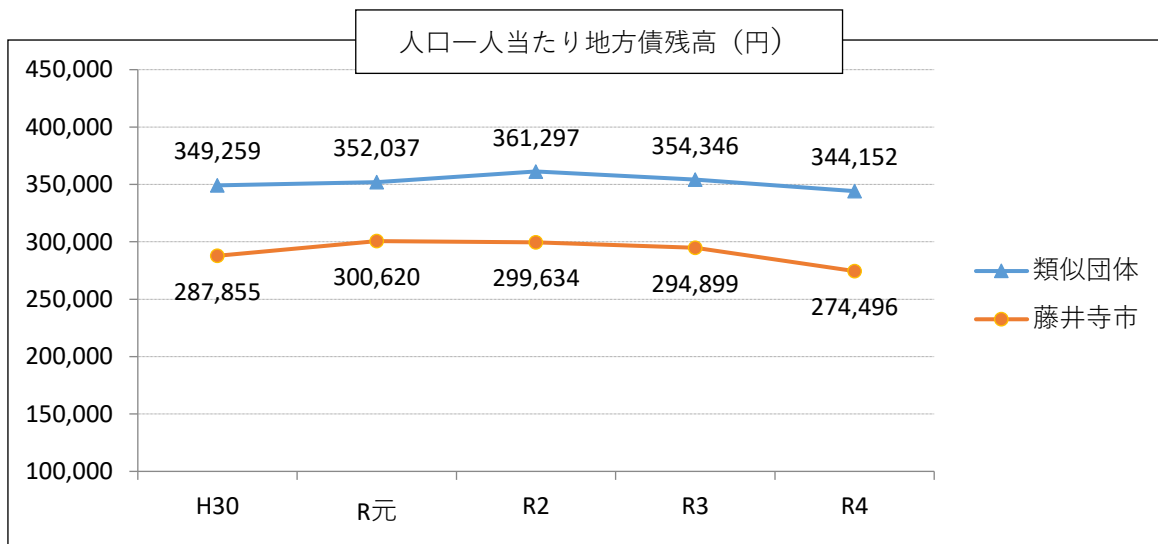
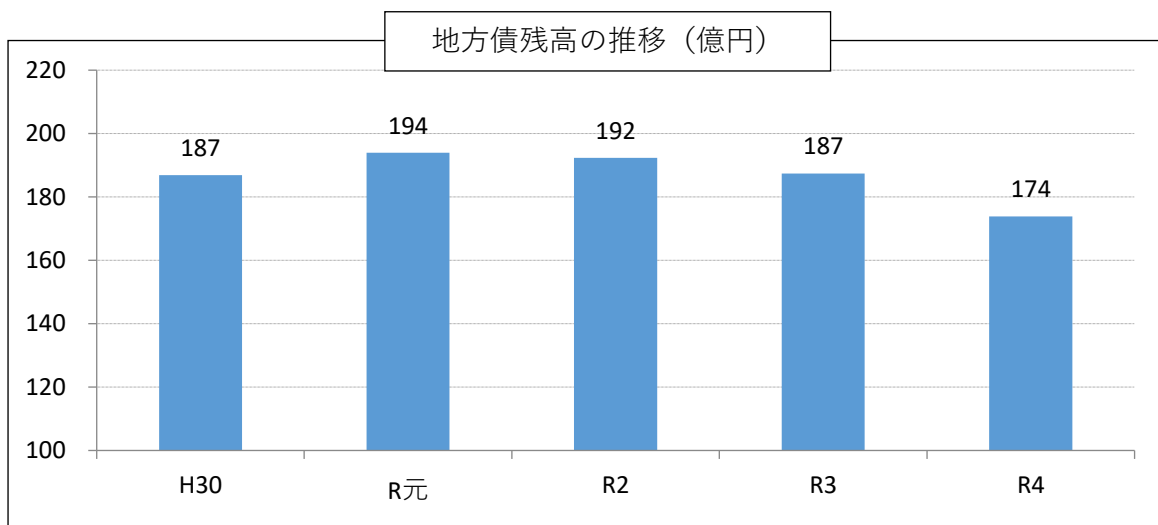
② 借金はどれくらいあるの？



Q. どうして借金するナリ？

A. 市の借金を市債（地方債）とって、公共施設の建設や道路の整備などをするためにお金を借りています。

借金の理由には資金の調達以外にも、多額の経費が単年度に集中するのを防ぎ、将来にわたって平等に費用を負担するという調整の役割もあります。



令和4年度末の地方債残高は前年度末に比べて約13億円減少しているナリ。今は類似団体より低い数値だから、これからも地方債残高が増加して、将来の財政負担が大きくなり過ぎないように注意していくナリ。



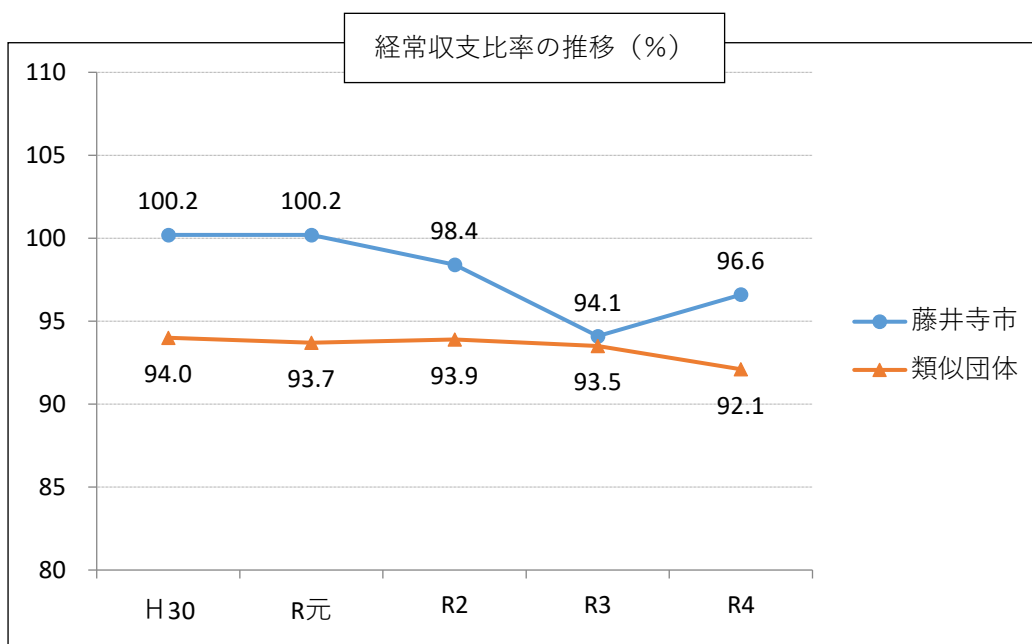
3. 二つの指標で藤井寺市の健康診断

① 自由に使えるお金の割合をチェック（経常収支比率）

経常収支比率とは、市税や地方交付税などの毎年入ってくる自由に使えるお金が、義務的経費等（人件費、扶助費、公債費など）にどのぐらいの割合で充てられているかを表しているナリ。

簡単にいうと「自由に使えるお金の割合はどれぐらいか」を示す指標ナリ。

100%を超えると自由に使えるお金がない（家計でいうと、基本的な給料だけでは最低限の生活費をまかなえていないという状態）ということになるナリよ。



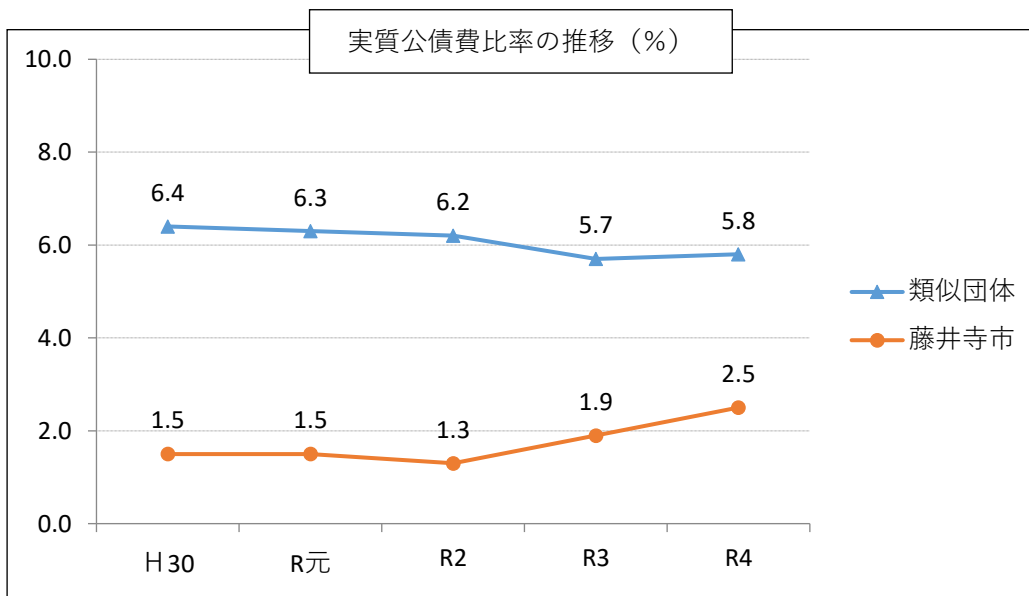
令和4年度の経常収支比率は前年度と比べて2.5ポイント増えて悪化しているナリ。100%を下回ってはいるものの、類似団体より高い状況が続いていて、藤井寺市の家計には余裕がないナリ。経費抑制や税収増を図って改善に努めないといけないナリ！

② 借金返済の負担が大きすぎないかをチェック（実質公債費比率）



実質公債費比率とは、収入の規模に対して借金の返済額がどれぐらいの割合になっているかを表していて、簡単にいうと「借金の返済額の負担はどれぐらいか」を示す指標ナリ。

18%を超えると国から危険信号が出されて、自由に借金ができなくなるナリ。

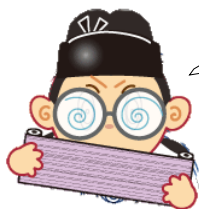


藤井寺市は類似団体と比べると低い数値を保っているナリ。これからも地方債の発行を最小限に抑えて地方債に過度に依存しない財政運営に努めないといけないナリ！

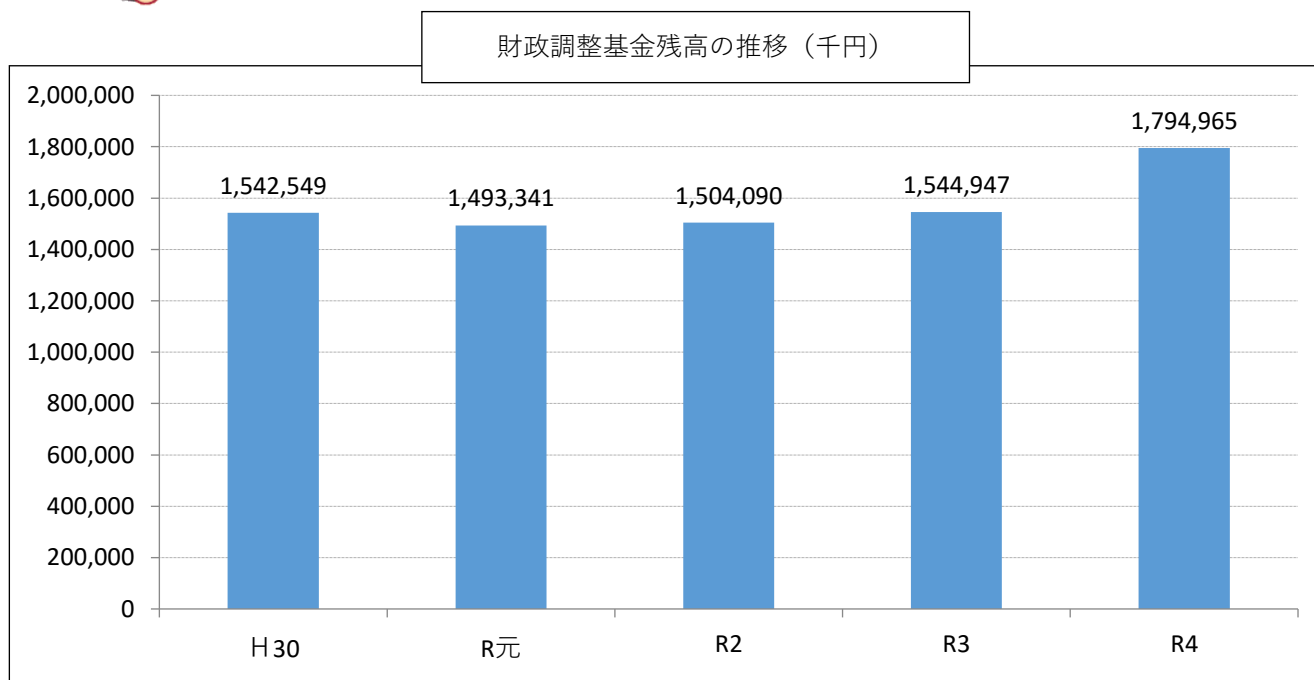


4. 藤井寺市の課題と取り組み

① 貯金がなくなる？



貯金のところで説明した財政調整基金について詳しく見てみるナリ。



(千円)

年度末残高	H30	R元	R2	R3	R4
財政調整基金	1,542,549	1,493,341	1,504,090	1,544,947	1,794,965
増減額	14,374	-49,208	10,749	40,857	250,018



令和4年度は令和2年度から引き続き、貯金を取り崩さずに約2億5千万円の貯金ができナリ！
でも安心はできないナリ。物価高騰で支出は増えているし、特に生活保護費や障害福祉サービス費などの扶助費は毎年増加の傾向にあるナリ。
もし貯金がなくなって、赤字が続くようになると、最終的には行政サービスの低下や市民の負担増加に繋がってしまうナリ。学校や公園等の整備ができなくなったり、ごみ収集が有料化したり……。考えたくないことばかりナリ。

② 収支の見通しと取り組み

令和4年度決算を反映した普通会計収支見通し

(単位:千円)

項目	年度	令和5年度 見込	令和6年度 見込	令和7年度 見込	令和8年度 見込	令和9年度 見込	令和10年度 見込	令和11年度 見込	令和12年度 見込	令和13年度 見込
地方税		8,493,467	8,244,955	8,561,384	8,626,427	8,542,777	8,598,478	8,800,512	8,833,117	8,850,114
地方交付税		5,291,083	5,217,483	5,157,483	5,157,483	5,157,483	5,157,483	5,157,483	5,157,483	5,157,483
地方譲与税・各種交付金		1,911,177	2,209,586	1,917,236	1,917,236	1,917,236	1,917,236	1,917,236	1,917,236	1,917,236
地方債		370,700	271,000	1,261,400	670,700	670,700	445,700	333,200	333,200	333,200
国庫・府支出金		7,528,386	6,871,389	6,953,800	7,137,500	7,137,500	6,987,500	6,912,500	6,912,500	6,912,500
繰入金		187,153	1,002,045	702,951	699,733	280,085	200,500	200,500	200,500	200,500
その他		997,212	818,870	813,590	813,390	813,390	813,390	813,390	813,390	813,390
歳入合計		24,779,178	24,635,328	25,367,844	25,022,469	24,519,171	24,120,287	24,134,821	24,167,426	24,184,423
人件費		4,678,122	5,453,652	4,961,872	5,030,774	4,973,328	5,204,831	5,014,985	5,210,334	5,055,597
扶助費		7,421,793	7,671,793	7,821,793	7,821,793	7,821,793	7,821,793	7,821,793	7,821,793	7,821,793
公債費		1,704,201	1,616,553	1,626,471	1,540,594	1,516,618	1,434,192	1,425,548	1,293,511	1,216,096
物件費		2,963,000	2,600,000	2,600,000	2,600,000	2,600,000	2,600,000	2,600,000	2,600,000	2,600,000
補助費等		4,354,310	3,435,879	3,498,042	3,545,042	3,595,042	3,637,042	3,644,042	3,654,042	3,663,042
普通建設事業費		415,322	500,000	1,475,400	1,100,000	1,100,000	700,000	500,000	500,000	500,000
繰出金		2,892,747	3,045,523	3,065,523	3,065,523	3,065,523	3,065,523	3,065,523	3,065,523	3,065,523
前年度繰上充用金		0	0	0	0	0	471,876	1,133,713	1,389,526	1,686,046
その他		349,683	311,928	318,743	318,743	318,743	318,743	318,743	318,743	318,743
歳出合計		24,779,178	24,635,328	25,367,844	25,022,469	24,991,047	25,254,000	25,524,347	25,853,472	25,926,840
実質収支		0	0	0	0	▲471,876	▲1,133,713	▲1,389,526	▲1,686,046	▲1,742,417

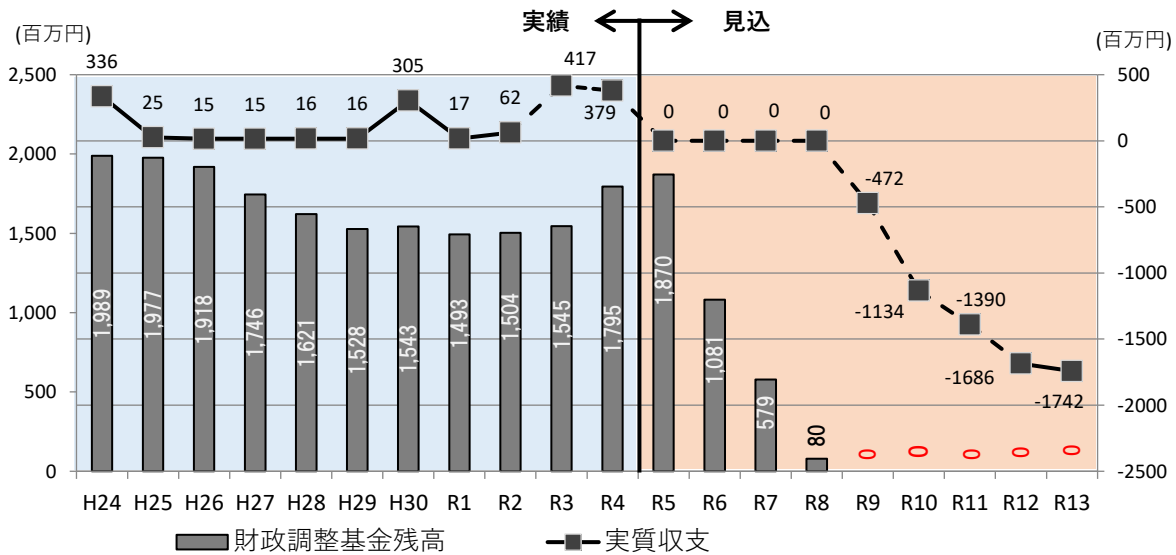
※表示単位未満を四捨五入している関係で、合計と内訳の計算が合わない場合があります。

歳入の繰入金というのが貯金（財政調整基金）をどれだけ取り崩しているかを表しているナリ。

貯金がなくなってからは赤字額がどんどん膨らんでいるナリ。



実質収支と財政調整基金残高の決算見込推移（令和4年度決算ベース）



前のページでは貯金にあたる財政調整基金の残高推移を見てきたけど、今後の見通しでは貯金を毎年度取り崩して、令和9年度には底をついてゼロになる見込みナリ。

本当にそうならないためにも、これまで以上に行政改革に取り組んでいく必要があるナリ。



藤井寺市の行財政改革の取組について



これまでの計画を整理してみたナリ。

市制施行後、初めての赤字決算となった平成18年度以降、切れ目ない行財政改革に取り組んできたナリ。目標達成は容易ではないけれど、諦めずにみんなで取り組んでいくナリ！



行財政改革アクションプラン2020取組目標

(1) 歳入の範囲での予算編成

財政調整基金、その他雑入等に頼る予算編成の見直し

(2) 聖域なきシーリング設定による予算編成

効果額を時代に合った行政サービスの強化へ充当

(3) 最少の経費で最大の効果

職員のスキルアップ、事務の見直し等による人員、人件費の適正化

(4) 将来への備え

財政調整基金、公共施設整備基金等への計画的な積み立て

行財政改革アクションプラン2020数値目標

(1) シーリング設定による歳出削減

令和3年度2%減、令和4年度3%減、令和5年度4%減

※令和元年度決算額比（一般財源ベース）

※削減額の一部を時代に合った行政サービスの強化事業費へ充当

(2) 実質単年度収支の黒字化

(3) 経常収支比率90%台の維持

(4) 財政調整基金残高20億円以上の達成

5. 藤井寺市の皆さまへ

藤井寺市の令和4年度の決算は基金（貯金）を取り崩さずに、黒字を確保できて、経常収支比率も令和3年度よりも悪化したとはいえ、依然として100%を下回る数値を維持しているナリ。ひとえに市民の皆さんのご協力と行財政改革の取組によって、財政状況の改善ができたと思うナリ。

市の財政状況が悪化していかないように、行財政改革アクションプラン2020を中心に行財政改革に取り組んできたけれど、公共施設の耐震化、老朽化への対応、今後発生が予想される大規模災害への対策等、課題は山積みナリ。

このような情勢の中で、令和6年度からは新たな「行財政改革推進プラン2024」を実行して行って、これからも健全な行財政運営を実現し、時代に合った行政サービスを強化していけるように頑張るナリ！

市民の皆さんには、藤井寺市の財政状況に関心を持っていただき、これからも引き続き、藤井寺市でお買い物をする、食品ロスを減らしてごみを削減する、市民税を期限内に納付するといったことからご協力をお願いしたいナリ。

藤井寺市のより良い行財政運営のため、広く皆さんからご意見をいただきながら、僕たちも取り組んでいきますので、よろしく願いいたしますナリ！



藤井寺市のホームページでは、財政状況や、行財政改革についてより詳細な資料を掲載しています。

ホームページ>市政>行財政

<https://www.city.fujiidera.lg.jp/shisei/gyouzaisei/index.html>

用語解説

用語		説明
あ	一般財源	財源の用途が特定されず、どのような経費にも使用することができるもの。
	維持補修費	自治体が管理する公共用施設等を補修するなどし、その効用を維持するための経費。
	衛生費	特定健診や予防接種などの保健に要する経費や、ゴミやし尿処理などの安全で衛生的な生活のために要する経費。
か	貸付金	地域住民の福祉増進や地域の振興を図るため、現金の貸付を行うための経費。
	議会費	議会の運営に要する経費。
	義務的経費	人件費、扶助費、公債費の3つからなり、支出が義務づけられている硬直性の強い経費。
	教育費	幼稚園や小中学校、公民館、体育館の運営の費用など、教育全般に要する経費。
	繰出金,繰入金	一般会計、特別会計及び基金の間で、相互に資金運用をするもの。その会計から他の会計に資金を移す場合を「繰出」、他の会計からその会計に資金が移される場合を「繰入」という。
	国・府支出金	国や府が行うべき事業を市へ委託する場合や、市が行う事業に対して一定の割合で補助する場合に交付されるお金。
	経常収支比率	人件費、扶助費、公債費等の経常的経費に、地方税や普通交付税を中心とする経常的一般財源がどの程度充当されているかを表す比率。
	決算	一会計年度の歳入歳出予算の執行の実績。
	公債費	資金調達のために借り入れた市債の元利償還金など。
さ	災害復旧費	道路、橋りょう等の公共土木関係施設や、ため池、林道等の農林業施設などが、台風等により被災した際に復旧に要する経費。
	実質公債費比率	市債の返済額等の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すもの。特定財源等が措置されるものを除く実質公債費相当額の、標準財政規模に対する比率。
	商工費	商工業や観光の振興に要する経費。
	消防費	消防団の維持や災害対策に要する経費。
	人件費	職員給与のほか、議員、各種委員報酬、特別職給与共催費などを総称したもの。
	総務費	人事、企画、財政、徴税、戸籍、選挙、統計や交通安全など、市の総括的な事務事業に要する経費。
た	地方交付税	国が地方公共団体（府市町村）に交付するお金。税収入の不均衡を調整することで、一定の行政サービスを担保するためのもの。
	投資,出資金	財産を有利に運用するための国債などの取得や、公益上の必要性による株式の取得などに要する経費。このほか、財団法人設立の際の出損金や、開発公社などへの出資も該当する。
	投資的経費	公共施設等の社会資本整備など、支出の効果が長期にわたる経費。
	特別会計	市が特定の事業を行う場合に、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般会計を区別して個別に処理する必要がある場合に、設置することができる会計。
	土木費	道路、橋りょうや公園の整備運営、都市計画道路事業などに要する経費。
な	農林水産業費	農道やかんがい施設の整備、営農の活性化、森林・林道の機能保全などに要する経費。
は	扶助費	社会保障の一環として、高齢者、児童、障害者等に対して行っている様々な扶助（援助）に要する経費。
	普通会計	地方財政に関する統計などに用いられる会計で、一般会計に公営事業会計を除く特別会計を合算し、重複額を控除して表現する会計。
	物件費	人件費、維持補修費、扶助費、補助費等以外の、自治体が支出する消費的性質をもつ経費。
	分担金,負担金	市が特定の事業に要する経費に充てるために、その事業によって利益を受けるものに対して徴収するお金。
	補助費等	各種団体に対する助成金や一部事務組合への負担金など。
ま	民生費	障害者福祉、児童福祉、高齢者福祉、福祉医療など、福祉全般に要する経費。
ら	労働費	雇用創出のために要する経費。
	臨時財政対策債	国が地方交付税を全額準備できない場合に、足りない分を地方自治体に借金させる形で一旦補い、後から地方交付税として交付するもの。